

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-2-10	事務事業名 中学校給食の導入に向けた検討	所管部課 学校教育部学務課					
事務事業の概要	事務事業の目的 中学校での完全給食実施について、その方法を検討する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)給食環境の整備					
	実施内容、実施方法 近隣市の実施状況やその方法、財政負担等を内部で検討し、給食運営審議会で議論してもらう。	根拠法令等 学校給食法 西東京市立学校給食運営審議会条例 (西東京市立中学校給食調査委員会設置要綱)					
	事業開始時期 平成14年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 会議開催回数	活動指標の考え方(定義) 調査委員会開催回数及び審議会で審議回数					
	成果指標名 報告書数	成果指標の考え方(定義) 検討した結果の報告書及び答申書の数					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)		千円	0	0	0	0
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			0	0	0	0
	所要人員(B)		人	0.17	0.02	0.02	0.02
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	1,402	165	167	167
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	1,402	165	167	167
	単位当たりコスト (E)=(D)/(会議開催回数)		千円	233.64	0	0	
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	回			0	0
		実績値	回	6	0	0	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	冊			0		
	実績値	冊	2	0	0		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成14年6月中学校給食調査委員会の報告、平成14年8月中学校給食運営審議会の答申により、現状では完全給食の実施は困難との結論は出ているが、一方では完全給食を望む声がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	16年度の状況では、区部の中学校411校は全校実施、市部では216校のうち114校が完全給食、68校がミルク給食、34校が未実施。完全給食を実施していない市は、八王子・武蔵野・調布・町田・国分寺・福生・狛江・東久留米・西東京である。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	平成14年度に完全給食の実施は現状では困難であるという結論が出ている。					

コード 12-2-10	事務事業名 中学校給食の導入に向けた検討	所管部課 学校教育部学務課
----------------	-------------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	他市の実施状況を調査研究しているが、さらに精度を高めるため、様々な視点から可能性を探る必要がある。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	平成14年8月の給食運営審議会答申以後、市の財政状況は好転してはいないが、近隣市において新たに中学校給食を実施する動きがあり、西東京市としても実施について再検討する必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	担当課のみでの検討ではなく、施設面、学校運営、指導等多角的に検討する必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	中学校の全生徒にかかわる問題である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	担当課において調査研究を継続するとともに、様々な意見を聞き検討を深める必要がある。

17年度における改善点	近隣市における実施状況の変化を調査研究し、西東京市での実施の可能性を検討するとともに、給食運営審議会に中学校給食のあり方について、実施の必要性の是非を含め再度意見を伺う。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。